

===== 飼料増産メールマガジン【第2号】 =====
平成27年8月17日配信 ~農林水産省生産局畜産部畜産振興課~

目 次

1. お知らせ・ニュース

- (1)飼料増産通信
 - (2)飼料増産に向けた会議等の開催状況
 - (3)食料自給率(飼料自給率)が公表されました
 - (4)電気さく施設における安全確保について
 - (5)「農林水産省気候変動適応計画」の決定について
 - (6)乳用牛ベストパフォーマンス実現会議

2. 今後の催し物のご案内

3 おわりに

いつも飼料増産メールマガジンをご愛読頂き、ありがとうございます。

先月の創刊号に続き、第2号をお届けします。行政からの情報提供にとどまらず、地域での取組状況等についてもメルマガ編集部で取りまとめ、全国の皆さんにお届けしたいと思っています。地域でのお役立ち情報など、是非ご提供下さい。

1. お知らせ・ニュース

(1) 飼料増産通信について

農林水産省では、「国産粗飼料の生産・利用拡大」、「放牧活用の推進」、「飼料用米等国産飼料穀物の生産・利用拡大」、「エコフィードの推進」の4つのテーマを大きな柱として、飼料増産の取組を推進しています。

国や都道府県・地方の取組を紹介するための一つのツールとして、
飼料増産通信や飼料増産ミニ通信を発行しています。

○飼料増産通信 第2号(27年7月16日)

- ・各地域における飼料増産行動推進会議
 - ・飼料用米の生産・利用の拡大に向けた取組
 - ・<コラム> エコフィードと飼料用米（糜米）の混合利用

⇒ http://www.maff.go.jp/i/chikusan/sinko/lin/siryo/pdf/150716_zousan_2a3.pdf (676KB)

<A4 版>

○飼料増産ミニ通信 VOL. 2(27年7月17日)
今回は、第1号の肉用牛放牧に続き、放牧酪農の取組に焦点をあてて特集し

ています。

(2) 銅料増産に向けた今議第の開催状況

◎東北地城 飼料增產研究會(87年7月10日(六))

東北地域 飼料増産研修会(27年7月10日(金))

をテーマに、東北地域飼料増産行動会議(事務局：東北農政局)及び一般社団法人日本草地畜産種子協会の共催により、宮城県大崎市にて研修会が開催されました。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/zousan_sympo/pdf/270710_touhoku_zousan1.pdf (376KB)

○九州地域 飼料用米推進会議(27年7月15日(水)～16日(木))

「飼料用米の多収・低コスト生産に向けて」をテーマに、鹿児島県農業再生協議会、一般社団法人日本草地畜産種子協会及び九州農政局の共催により、1日目(15日)は鹿児島県鹿児島市にて研修会、2日目(16日)は鹿児島県霧島市にて事例発表と現地調査が行われました。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/zousan_sympo/pdf/270715_kyusyu_zousan1.pdf (403KB)

○北陸地域 飼料用米生産利用推進会議(27年8月11日(火))

一般社団法人日本草地畜産種子協会及び北陸地域飼料増産推進会議との共催により、現地研究会及び意見交換会が富山県南砺市及び小矢部市で開催されました。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/zousan_sympo/pdf/270811_hokuriku_zousan1.pdf (362KB)

○放牧酪農に関する情報交換会・技術向上研修会(27年8月11日(火))

農林水産省及び一般社団法人日本草地畜産種子協会の共催により、放牧酪農に関心のある酪農家等を対象に、情報交換会及び放牧技術研修会が開催されました。

道東地区では、27年8月11日(火)、北海道標茶町(JA 標茶町)で搾乳牛放牧技術研修会が開催されました。

(配付資料)⇒ <http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/houboku/siryous1.html>

(開催概要)⇒ <http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/houboku/pdf/gaiyou.pdf> (812KB)

(3) 食料自給率(飼料自給率)が公表されました(27年8月7日(金))

平成26年度の食料自給率及び飼料自給率が公表されました。

○カロリーベースの食料自給率は、前年度と同率の39%になりました。

○TDNベースの飼料自給率は、前年度の26%から1%上昇し27%となりました。内訳は、粗飼料が前年度の77%から1%上昇し78%となり、濃厚飼料が前年度の12%から2%上昇し14%となりました。(飼料自給率は別添3を御覧ください)

⇒ http://www.maff.go.jp/press/kanbo/anpo/150807_2.html

(4) 電気さく施設における安全確保について

先月、静岡県西伊豆町において、鳥獣被害防止のために設置された電気さくに起因する死傷事案が発生しました。

農林水産省では、電気さくの安全確保の周知徹底を行うよう通知するとともに、既設の電気さくについて、漏電遮断機の設置などの安全確保が適切に行われているかどうか再点検・改善指導を行うよう通知したところです。

電気さく設置者の皆さんにおかれましては、電気事業法(昭和39年法律第170号)に基づく電気設備に関する技術基準を定める省令(平成9年通商産業省令第52号)を踏まえ、感電防止のための適切な措置を行って下さい。

また、電気さくには、故意に触れたり、近づいたりしないでください。
詳しくは、こちらを御覧ください。
⇒ http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/anzen_kakuho_20150721.html

(5) 「農林水産省気候変動適応計画」の決定について

8月6日(木)に開催された第4回農林水産省気候変動適応計画推進本部において、「農林水産省気候変動適応計画」が決定されました。

畜産・飼料作物に関しては、(本文)12~13頁及び(工程表)39頁に記載されています。また、概要については、参考資料の9頁記載されています。

詳しくはこちらを参照してください。
⇒ <http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/150806.html>

(6) 乳用牛ベストパフォーマンス実現会議

農林水産省では、酪農家における点検改善ポイントに関する情報発信を行い、乳用牛の更なる生産性向上を図ることを目的として、「乳用牛ベストパフォーマンス実現会議」を開催しました。

「乳用牛のベストパフォーマンスを実現するために」と題したパンフレットを掲載しました。
⇒ http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/1_katiku/index.html#july13th_2015

2. 今後の催し物のご案内

(1) 放牧酪農に関する情報交換会

農林水産省及び一般社団法人日本草地畜産種子協会の共催により、放牧酪農に関心のある酪農家等を対象に、情報交換会が開催されます。(外部リンク)
⇒ http://souchi.lin.gr.jp/pdf/2015_grazing-trainingmeeting02.pdf (77KB)

ア 南宗谷地区
日 時：27年8月24日(月)10:00~15:00
場 所：北海道浜頓別町(ほけんセンター)

イ 北宗谷地区
日 時：27年8月25日(火)10:00~15:00
場 所：北海道豊富町(定住支援センター)

(2) 肉用牛放牧指導者研修会

一般社団法人日本草地畜産種子協会の主催により、電気牧柵の設置等の実技を中心に放牧の基本技術等に係る研修会が開催されます。

日 時：27年8月18日(火)9:30~19日(水)15:20
場 所：長野県原村(八ヶ岳中央農業実践大学校)
問合せ先：日本草地畜産種子協会(直通)03-3251-6501
(外部リンク)
⇒ <http://souchi.lin.gr.jp/event/1.php>

(3) 東海地域 飼料増産推進協議会・研修会

東海地域飼料増産推進協議会(事務局：東海農政局)、独立行政法人家畜改良センター茨城牧場長野支場及び一般社団法人日本草地畜産種子協会の共催により、牧草地の管理技術等の現地研修会が開催されます。

日 時：27年9月1日(火)13:30～16:30

9月2日(水)10:30～14:30

場 所：愛知県名古屋市(1日)、岐阜県恵那市(2日)

⇒ <http://www.maff.go.jp/tokai/seisan/tikusan/siryou/index.html>

(4) 九州地域 飼料増産に関する研修会

九州農政局、農研機構(九州沖縄農研センター)、独立行政法人家畜改良センター(熊本牧場)及び一般社団法人日本草地畜産種子協会の共催により、放牧や稻WCSの拡大推進に関する研修会(座学及び現地)が開催されます。

日 時：27年9月7日(月)13:00～17:15

9月8日(火)8:30～13:00

場 所：熊本県熊本市(1日目)、熊本県玉名市(2日目)

問合せ先：九州農政局畜産課(直通)096-211-9538

(5) エコフィード全国推進シンポジウム

農林水産省の主催により、平成27年度「エコフィード全国推進シンポジウム」を27年9月11日(金)に、農林水産省7階講堂において開催されます。申し込み方法等詳しくはこちらを御覧ください。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/c_sinko/150810.html

(6) 肉用牛繁殖技術シンポジウム

農林水産省の主催により、「肉用牛繁殖技術シンポジウム」を平成27年9月29日(火)に、星陵会館(東京都千代田区)において開催されます。申し込み方法等詳しくはこちらを御覧ください。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/c_sinko/150811.html

(7) 関東地域 飼料増産行動会議現地研修会

山梨県、一般社団法人日本草地畜産種子協会及び関東地域飼料増産行動会議(事務局：関東農政局)の共催により、中山間等の条件不利地域における青刈りとうもろこし栽培及び集約放牧に関する現地研修会が開催されます。

日 時：27年10月8日(木)13:00～17:00

10月9日(金)10:00～12:00

場 所：山梨県甲府市(1日目)、山梨県富士河口湖町(2日目)

問合せ先：関東農政局畜産課(直通)048-740-0412

(8) 全国放牧シンポジウム

農林水産省及び一般社団法人日本草地畜産種子協会の共催により、肉用牛

放牧に関する全国シンポジウムが開催されます。プログラム等は決定次第お知らせします。

日 時：27年10月28日(水)13:00～17:00

場 所：農林水産本省 7F講堂

問合せ先：農林水産省畜産振興課(草地整備推進室)03-3502-5993

3. おわりに(編集部より)

創刊号を配信した7月15日の東京地方は、まだ梅雨明け前でした。この1か月は台風の襲来や猛暑日が続いたりしています。先日、北海道に出張してきましたが、道東地域では、記録的短時間大雨情報が出されたり、落雷の影響により空港が一次停電になったりと、さんざんでした。例年だとお盆を過ぎると朝晩の風が少し変わりますが、日中はまだまだ暑い日が続きます。適度な休息と水分補給を忘れずに、体調管理に注意が必要です。

次回は概算要求の情報などを中心に、9月上旬にお届けできるようがんばります。「稔り多い秋」が来ることを祈念しております。

御注意

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルを御覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「4 PDFファイルについて」を御覧になり、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

連絡先等

発行：農林水産省生産局畜産部畜産振興課
(〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1)

バックナンバーは、こちらから御覧下さい

⇒ <http://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/shiryo/merumaga.html>

農林水産省の施策、メールマガジンに関する御意見・御要望、転載希望、メールマガジンの配信停止や、メールアドレス等の会員情報の変更手続が不明な場合は

⇒ <https://www.contact.maff.go.jp/voice/sogo.html>までお願いします。

メールマガジンの配信停止や、メールアドレス等の会員情報の変更は、下記サイトで手続をお願いいたします。

配信停止、メールアドレス等変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行を行ってください。

メールマガジンの配信解除 ⇒ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

メールアドレス等の変更 ⇒ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

パスワード再発行 ⇒ <http://www.maff.go.jp/pr/e-mag/re.html>
